

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成29年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			一般教養	社会人として必要な一般知識、人間性の教育を学ぶ。	1通	40		○			○		○	○	
○			実務教養	一般常識や就職活動に必要な「考える力」、「文章作成能力」、「話す力」を強化する。	2通	40		○			○		○		
○			パソコン演習	WordやExcel等のパソコンの基本操作を学ぶ。	1通	40			○		○		○		
○			販売小売学	小売業の役割や法令・接客販売の技術や顧客心理などの基礎知識を学ぶ。	1後	40		○			○		○	○	
○			合宿研修《特別授業》	軽井沢研修所で社会人として基本的な団体行動のマナーや、仲間との共同作業を体験する。	12通	72				○		○	○		
○			動物美容学	基本的なグルーミング技法や各犬種のトリミング方法を学ぶ。	12通	100		○			○		○		
○			保定学	犬を中心に抱き方やグルーミングをする際の理想的な押さえ方の手法を学ぶ。	1前	20		○			○		○		
○			動物生態学	行動学、犬種学、猫学、鳥類学、魚類学、爬虫類学などのさまざまな動物の生態や種類を学ぶ。	12通	100		○			○		○		
○			愛玩動物飼養管理学	動物愛護と適切な飼養・管理に関する専門的な知識を幅広く習得する。愛玩動物飼養管理士2級取得を目標とする。	1通	40		○			○		○		
○			企業研究	さまざまな商品知識や接客態度を幅広く学び、ショップでの作業やお客様へのアドバイスがスムーズに行えるよう学習する。	1通	40		○			○		○	○	
○			訓練学	犬の習性や総合的能力を理解し、トレーニングについての基本的な知識を学ぶ。	1前	20		○			○		○		

授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成29年度

分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
○			獣医学	犬猫を中心とした動物の体の構造と機能を理解し、各器官の代表的な疾患と治療法を知る。	1通 2前	60		○			○		○		
○			犬猫疾病学	犬猫を中心に主要な疾病の機序、症状、診断、治療法などを学ぶ。健康への回復を援助するため疾病に対する看護のポイント、健康の保持と促進ができるよう疾病予防の知識を学習する。	2後	20		○			○		○		
○			動物繁殖学	主に犬、猫の交配について妊娠から発情、交配、産後の管理方法を学ぶ。	2後	20		○			○		○		
○			動物美容器具演習	グルーミングにおける正しい器具の使い方、固定方法を演習を通じて学ぶ。	1前	20				○	○		○		
○			動物美容実習	動物実習を通じてグルーミングの基本から最新の技術を取り入れた応用までを学ぶ。	1 2通	1400				○	○		○		
○			動物看護実習	動物の状態を把握する能力を身に付け、基本的な看護技術を身につける。血液検査・糞便検査・尿検査などの診断へと導く重要な検査についての意義を理解し、技術を修得する。	2通	60				○	○		○		
○			動物管理実習	動物の健康管理や適正な飼養に必要な栄養・感染症・衛生管理やワクチンなどの疾病予防に関する知識や技術を学び、飼主への的確な指導やアドバイスができるようになる。	1 2通	80				○	○		○		
○			体験実習	店舗実習、訓練実習、ハンドリング実習、メイク実習、カラーリング実習、猫実習、ドックショー研修など多種多様な実習を体験する。	1通 2後	120				○	○		○		
○			校外研修 《特別授業》	様々な動物関連施設の実務を体験し、動物関連の業務及び動物の習性・特徴等を得る。併せて、通常の授業では学ぶことの出来ない社会の規律を体得する。	1 2通	24				○	○		○		○
	○		経営学 《必修選択 一般科目》	経営とは経験学にほかならない。知らずに経験して身につけるよりも、少しでも知っておいて経験することの有利さを知る。	2通	40		○			○			○	
	○		販売小売学 《必修選択 一般科目》	やがて社会人として巣立つことになるが、技術者としてのみならず、流通人として必要な知識を学ばなければならない。この知識は実践を通して身に付いていくことになる。	2通	40		○			○			○	

### 授業科目等の概要

(動物管理専門課程 愛犬美容科) 平成29年度															
分類													授業方法	場所	教員

必修	選択必修	自由選択	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時 数	単 位 数	講 義	演 習	実験・実習・実技	校 内	校 外	専 任	兼 任	企業等との連携
	○		POPデザイン演習 《必修選択一般科目》	POP広告の目的や役割を学び、POP広告クリエイターの資格取得を目指す。	2通	40		○		△	○			○	○
	○		パソコン実践 《必修選択一般科目》	1年時に学んだ内容を基に、更なる応用知識の習得を目指す。	2通	40			○		○			○	
	○		造形デザイン 《必修選択一般科目》	デッサン等を通じてバランスのとり方やデザイン性を学び、トリミングに応用させる感性を養う。	2通	40				○	○			○	
	○		愛玩動物飼養管理学 《必修選択一般科目》	動物愛護と適切な飼養・管理に関する専門的な知識を幅広く習得し、動物飼養管理士1級取得を目標とする。	2通	40		○			○		○		
	○		訓練実習 《必修選択専門科目》	家庭犬訓練士ライセンス取得を目指し、犬についての基礎知識とトレーニング技術の習得を目的とする。	2通	60				○	○		○		
	○		猫美容実習 《必修選択専門科目》	キャットグルーマーライセンス各級取得レベル到達のための技術向上を目指す。	2通	60				○	○		○		
	○		ハンドリング実習 《必修選択専門科目》	ハンドリングを学び、ドッグショーの仕組み、目的を学ぶ。	2通	60				○	○		○		
	○		アロマ実習 《必修選択専門科目》	精油の正しい使用方法を学び、犬とのコミュニケーションの取り方などを改めて学習する。	2通	60				○	○		○		
○			国内研修	国内の動物関連施設を実際に訪れ、学内では経験できないことを自ら進んで体験し、動物分野の理解をより一層深める。	1 2通	72				○		○	○		
○			海外研修	動物分野において先進国である欧米諸国の動物関連施設を訪れ、最先端の技術・施設等を目の当たりにすることで見識を深める。また、日本との違いを直接肌で感じることで自己向上意欲を高め、今後に役立てる。	1 2通	144				○		○	○		
合計				32科目	2400単位時間( 単位)										

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
①指定の課程において履修すべき全科目に合格すること。②指定の課程において所定の技能検定試験に合格し、登録すること。③履修期間の出席日数は、80%以上であること。④学習態度を勘案し、人物品性共に社会人としての資質を有すると認められること。⑤納入すべき所定の費用を期日までに全納すること。	1学年の学期区分	2期
	1学期の授業期間	20週

(留意事項)

- 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。